

麻見江ホスピタルは療養生活を快適に過ごして頂けるよう、ゆったりとした広く明るい病室で、行き届いた医療と常に思いやりと優しさを基本とした看護を心掛けた療養型病院です。

## 医療法人眞美会 麻見江ホスピタル理念

「健康こそ人生最高の宝」を基本とし、食を中核とした医療の提供、そして「ハートからハート」を基本に「真心の医療」を提供します。

## 基本方針

医療法人眞美会は基本方針に基づきご利用の皆さまに適切な、「医療」「保健」「福祉」サービスを提供します。

1. ご利用の皆様の権利を尊重します
2. 安心して暮らせる地域づくりの推進
3. ご利用の皆様の満足度の向上

## ☆ 院内行事 ☆

当院ではレクリエーションの一環として定期的に「ものづくり教室」や「カラオケ大会」を開催しています。季節によりその季節に合ったイベントも開催しております。ものづくり教室では講師の作品見本を基に患者様方に手芸作品を制作して頂いています。カラオケ大会では本格的なカラオケ機材を使用してのカラオケです。

今年度の上半期にはイベントとして「あし湯」と「七夕祭」を行いました。こうしたイベント時にはいつもと違う患者様方の生き生きとした表情等をされます。患者様に喜んで頂くだけでなく、患者様の喜ばれる姿は当院の職員の励みにもなっています。

### 『平成30年5月19日 あし湯』

当法人サービス付き高齢者向け住宅内にあし湯の設備があります。今回はレクリエーションの一つとして「あし湯」を体験して頂きました。あし湯で心身共にポカポカになった後にはオリジナルの名前入りの「うちわ」作成を行い、その後には患者様の名前入り手作り特製デザートを召し上がって頂きました。特製デザートは当法人自慢の管理栄養士が前日から丁寧に準備を行っていたものです。患者様方にも大変な好評であり、ボリュームのあるデザートにも関わらず、皆様完食されていました。



↑これからあし湯が始まります。



↑ただ今、あし湯中♪



↑喫茶&スイーツタイム。



↑大好評の特製手作りデザート♪

### 『平成 30 年 7 月 7 日 七夕祭』

今年の七夕当日に七夕祭を開催しました。職員から構成された「七夕隊」が、七夕の音楽によって職員の手作りの山車が各病棟を巡り、患者様方にお菓子を配ったり、記念写真を撮影しました。栄養士による食事形態の確認によるお菓子の種類も複数準備をし、出来るだけお菓子を召しあがって頂ける様にしました。当日のお菓子は入院中では普段食べる機会も少ない、懐かしの駄菓子等が主となり、患者様達が喜んで召し上がって頂きました。七夕祭は職員による「七夕隊」以外でも病棟にボランティアの方々の演奏があったりと楽しく盛大に行う事が出来ました。当日に面会に来られていた患者様の面会者の方にも記念写真をお願いする等して御好評も頂きました。



### <各 部 署 員 紹 介>

本紙面を借りまして日々業務に勤しんでいる当院の各課より、業務内容や職員の紹介をさせて頂きたいと思っております。今回はリハビリテーション担当よりご紹介します。

平成 29 年入職 リハビリテーション担当 理学療法士： 小山

リハビリ担当では入院患者様・外来患者様のリハビリテーションを行っています。また、2018 年度からはより地域に根付いた取り組みとして、訪問リハビリテーションを立ち上げ実際に患者様が生活する御自宅でのリハビリも行っています。

入院患者様の多くは高齢者であり、日常の生活動作が困難な方が多くいらっしゃいます。病棟スタッフと連携を取り、その方の出来ることや望むことを評価して日常生活動作能力の維持・向上ができるように、関節可動域運動や歩行練習を行なっています。

外来患者様は鳩山町という坂道が多い土地の特性上、足腰の痛みを訴える方が多くいらっしゃいます。患者様の具体的な悩みに対して、その方に適したリハビリを提供することで身体をケアして行き、少しでも長く健康な身体を維持していただけるよう取り組んでいます。

私は麻見江ホスピタルの委員会活動として NST（栄養サポートチーム）に参加しています。NST では主に、食事姿勢のポジショニングについてチームで検討する機会をいただいています。当院の理念にある、食を中核とした医療の提供という考えに対し、理学療法士として患者様が安全に食べやすい姿勢でお食事を楽しんでいただけるよう、関わって行きたいと考えています。



無料送迎実施中☆

無料  
送迎車 運行中



ご自宅まで送迎いたします  
☎ 049-296-1155

※ご利用にはいくつか  
条件がございます

当院では外来受診をされる患者様の無料送迎を行っております（要予約。送迎地域は鳩山町内等の指定地域のみのご利用となります。ご自宅から当院間の送迎利用のみです）。送迎する車は人気の「プチパン」タイプのクルマです。広々としたスライドド

アは乗り降りも良好、プチパンタイプなので広い車内や居住性も良好でご好評を頂いております。

お問合せは…

電話： 049-296-1155 総務担当まで

「献立もう一品ふるさとの野菜と野草料理」

馬場 真美子 著



当法人の理事長、馬場真美子の著書です。野菜や野草を使った健康に良く、次世代へも伝えたい料理が沢山収録されております。

★サービス付き高齢者向け住宅★



『サービス付き高齢者向け住宅 眞美』

電話 049-277-3185



『サービス付き高齢者向け住宅 麻見江』

電話 049-299-6813

『サービス付き高齢者向け住宅 眞美』及び「サービス付き高齢者向け住宅 麻見江」はご好評により現在は満室となっております。施設は緑豊かな好立地条件だけではなく、隣設する提携病院への受診連携が迅速である事もご好評を頂いております。ご興味のある方はお問い合わせ下さい。ご見学や入所の相談は随時承っております。各施設の空室状況のお問い合わせも担当者へご連絡下さい。

☆ 編集後記 ☆

今回の編集後記は編集長が普段の社会生活に於いて違和感を覚える事があるのでつぶやいてみます。説明をする場面で本当の理由が伝わらない様な説明をしているのではないかな？と思う事があります。例えば、お店などの場面で子供を注意するときに、大人の人が「そんな事をすると店員さんに怒られるよ。」と言う注意の仕方を耳にする事はありませんか？編集長は度々こうした言い方を耳にします。年代を問わず、若い親御さんから年配の祖父母さんと思われる世代の方でも同じ様な言い方を聞く度に違和感を覚えます。こうした注意の仕方だと子供にどうして注意をされているのか、その本当の理由が解らないままになるのではないかな？と思います。「そういう事をすると他の人やお店に迷惑を掛けるから、してはいけないよ。」と言うのが本当の理由の筈です。それなのに前述の様に注意するとお店や他の客さんに迷惑をかけるからいけないよ…と言う理由では無く、単に「怖い店員さんがいて怒られるから止めた方が良い」と、正しい理由が伝わらずに間違った理由で子供は理解してしまうのではないかと思います。「店員さん」の例でなく、他の事でも本当の理由を理解できない様な言い方をしている事もあるのではないかと、思います。その様な事もあり編集長は愛娘に注意をする時には注意される本当の理由を理解出来るように、と心がけています。今回は若輩者の編集長が生意気な事をつぶやいてしまいました。

さて、編集長の愛娘も小学校へ入学してから半年が経とうとしています。入学後の初めての夏休みを向かえ、宿題や課題を仕上げに行き、習い事もしつつ、遊びも沢山して…と賑やかな夏休みだったと思います。来月の10月には愛娘が小学校に入学してから初めての運動会を迎えます。親子参加種目もあるので編集長も参加して頑張ります。

-編集長-

ハートからハートへ心と心を結ぶ医療サービス  
医療法人眞美会 麻見江ホスピタル  
〒350-0302 埼玉県比企郡鳩山町大橋愛宕 1066  
電話 049-296-1155 (代表) FAX049-296-1147